

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公表番号】特表 2000-514518 (P2000-514518A)

【公表日】平成 12 年 10 月 31 日 (2000.10.31)

【出願番号】特願平 10-500092

【国際特許分類第 7 版】

F 0 2 C 7/047

F 0 1 D 25/10

【F I】

F 0 2 C 7/047

F 0 1 D 25/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 31 日 (2004.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年5月31日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第500092号

2. 補正をする者

住所 ドイツ連邦共和国 デー-06112 ハレ
ライプツィガー ショセー 191 エフ
名称 エネルギーフェルゾルグング ハレ ゲゼルシャフト
ミット ベシュレンクテル ハフツング

3. 代理人

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿四丁目3番17号
HK新宿ビル 7階 電話 03-3357-5171
氏名 弁理士 (7904) 中島 淳



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

別紙の通り



請求の範囲

1. 作動系 (1) の空気吸込み装置を備え、ガス圧縮装置 (3) 及びガスタービン (5) を含むガス混合ラインの凍結を防止するための方法において、
相対空気湿度 (W_{rel}) 及び外気温度 (T_a) が所定の公称値に至ったときに、加熱されたガスを空気吸込み装置に供給することを特徴とする方法。
2. (i) 加熱された発電機排気を空気吸込み装置 (12, 12') に先ず最初に供給すること、
(ii) 熱必要量が更に増大したときに、作動系 (1) の熱回路終端の廃熱装置 (8) から熱を取り出すこと、及び
(iii) 熱必要量が更に増大したときに、ガス圧縮装置 (3) の適切な個所から熱を取り出すことを含む請求項 1 記載の方法。
3. 加熱された発電機排気を多通路型ガス案内装置 (7) を介して導くことを含む請求項 1 又は 2 記載の方法。
4. 調節装置 (9, 10) を介して廃熱装置 (8) から熱を導くことを含む請求項 1 又は 2 記載の方法。
5. ガス圧縮装置 (3) の一端部 (13) から調節弁 (14) を介して第 1 の空気流入装置 (12) に熱を供給することを含む請求項 1 又は 2 記載の方法。
6. 吸込み管路 (23) 内の空気の温度を調節できるように、装置 (2, 7, 3) から取り出した熱を空気流入装置 (12, 12') に供給することを含む請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の方法。
7. 廃熱装置 (8) の熱を、ガス温度が $120^{\circ}\text{C} \sim 200^{\circ}\text{C}$ である箇所から取り出すことを含む請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の方法。
8. 廃熱装置 (8) の熱取出し箇所 (16) を凝縮液予熱器 (17) の下流側に設けることを含む請求項 7 記載の方法。
9. 吸込み管路 (23) 内の最高空気湿度を超えないように、外気に至る廃熱ガス即ち煙道ガスに対する発電機排気の混合比を調節することを含む請求項 1 記載の方法。

10. 廃熱装置 (8) から取り出すべき熱量が所定値を超えないようにすることを含む請求項 1～9 のいずれか 1 項記載の方法。

11. 個々のガス流の混合比が所定パラメータに依存するように設定することを含む請求項 1～10 のいずれか 1 項記載の方法。

12. 少なくとも 1 つのパラメータは、外気温度 (T_a) と相対空気湿度 (W_{rel}) である請求項 11 記載の方法。

13. 第 1 及び第 2 の空気流入装置 (12, 12') 内の温度が $+3^{\circ}\text{C} \sim +5^{\circ}\text{C}$ であり且つ最高空気湿度を上回らないように、個々のガス流の温度を調節することを含む請求項 1～12 のいずれか 1 項記載の方法。

14. 加熱ガスを用いて空気／ガス混合系内の凍結を防止するための装置であって、

電力機械 (2) の冷却系の排気通路 (6) 内に配置した、異なる管路 (18, 19) のガス流を必要に応じて配分する多通路型ガス案内装置 (7) と、

作動系 (1) の廃熱装置 (8) の熱を取り出すための調節装置 (9, 10) と、

ガス圧縮装置出口 (13) と吸込み系のガス入口との間に設けた、調節弁 (14) を有するバイパス管路 (20) と、

を含むことを特徴とする装置。

15. 多通路型ガス案内装置 (7) は、三方弁であることを特徴とする請求項 14 記載の装置。

16. 作動系 (1) の廃熱装置 (8) の熱を取り出すための調節装置 (9, 10) は、少なくとも 1 つの送風機 (9) とガス流遮断装置 (10) を含むことを特徴とする請求項 14 記載の装置。

17. 調節弁 (14) を有するバイパス管路 (20) を含むことを特徴とする請求項 14 記載の装置。

18. 別の調節弁 (22) を有する別のバイパス管路 (21) を含むことを特徴とする請求項 14 記載の装置。